

大学設置支援室 information

来年春、武雄アジア大学が開学します！

令和8年4月の武雄アジア大学開学を目指し、設置主体である学校法人旭学園は、昨年10月に文部科学省に対し、大学設置の認可申請をされました。そして8月29日、文部科学省から武雄アジア大学の設置について認可されました。来年の春、武雄アジア大学が開学します。

武雄アジア大学（概要）

設置・運営主体 学校法人旭学園

建設地 武雄町武雄 4814 番地（白岩体育館跡地）

開学時期 令和8年4月

定員 560人（1学年140人）

東アジア地域共創学部 / 東アジア地域共創学科

地域理解、国際理解、経済経営の素養の上に、観光、まちづくり、メディアコンテンツ等の分野で地域実践しながら学びを深め、**グローバルな視点を持ち、地域の持続的発展に貢献できる人材**を養成する。

学位 学士（地域共創）

学びの特徴

- 1年次 「地域理解」「国際理解」「外国語」を学び、リベラルアーツ力（教養）を身につける。
- 2年次 「経済」「経営」「地域研究」を学び、専門基礎力を身につける。
- 3年次～ コースを選択し、専門実践力を身につける。

【観光・地域マネジメントコース】

持続可能な地域づくりに貢献

- 地域に飛び出して課題解決に挑戦する。
- 地域の企業・団体と連携して、新たな観光の在り方、考えを提案する。
- 多様なコンテンツを組み合わせ、地域を魅力的にマネジメントする。

【東アジア・メディアコンテンツコース】

アジアの音楽やアートを学問的に分析

- 多様なメディアの発信力やリスク、マーケティング手法などを学ぶ。
- アジア発のコンテンツの国際的な広がりを調べる。
- メディアの特徴とコンテンツを組み合わせ、地域の魅力を創造する。

武雄アジア大学の名称には、アジアを通じて世界を見つめる視座を培いながら、日本の地域社会における課題を解決し、未来づくりに挑戦する人材を武雄で養成したいとの願いが込められています。

大学ができることで

～学生が地域で学びます～

武雄アジア大学は参加型の学びを重視されています。学生がキャンパスを飛び出し、現場（地域）に出かけ、地域の皆さまとともに課題を発見し、解決を目指す実践的な授業が行われます。また、学生が就職を前に、企業等でのインターンシップ（就業体験）を経験するようになります。他にも、アルバイト活動やボランティア活動など、学生自身が地域に入り込み、生活するようになります。



▲授業のイメージ

～市民一人ひとりの学びが広がります～

武雄アジア大学は開かれた大学を目指されています。市民の皆さまが、大学を気軽に訪れ、利用していただけるように、大学キャンパスの一部を開放される予定です。

大学では、市民の皆さまが学びの楽しさを発見することができる『市民講座』が実施される予定です。現在、開学前のプレ講座として毎月1回、参加無料の市民講座を実施されています。皆さまのご参加をお待ちしております。



▲キャンパス内イメージ



▲市民講座（6月）の様子

キャンパス完成予想図



武雄アジア大学市民講座シリーズ

【第7回】『水曜どうでしょう』とそれを支えた、みゆき、千春以降の札幌のローカルミュージックシーン

申込不要
参加無料

講師：法政大学地域創造インスティテュート教授 増淵 敏之 氏
ミュージシャン / プロデューサー 藤井 要一 氏

北海道から全国に広がったTV番組『水曜どうでしょう』制作の経験談などを交えつつ、ローカルコンテンツの可能性をお話します。

10/11 ± 15:00～16:30
武雄市役所 1階ホール
（※都合により10月18日分の開催スケジュールを変更しました）

学校法人旭学園 新大学設置準備事務局
TEL:0952-37-0203（直通）
主催：学校法人旭学園 共催：武雄市

